

野球協会県大会(全日本学童・関東学童・関東学童秋季)における注意事項

2022.4.1

千葉県少年野球連盟 審判部

本資料は、野球協会県大会における規則等につき、千葉県少年野球連盟の大会規則との相違点及び重要事項を中心に纏めたものです。

1. 競技者必携の携帯義務

試合前のトス時、「競技者必携」の持参を確認して下さい。

当連盟大会では「指導者認定証」の確認ですが、野球協会大会では「競技者必携」です。

2. 守備側のタイムの回数制限(競技者必携(2022年版)58・59 ページ 1・2 項)

(1) 投手の所へ行く回数制限は、次の通り各々カウントされます。

● 野手(捕手含む)が行った時点で1回 ⇒ 3回/1 試合

● 監督が行った時点で1回(投手の交代時は含まず) ⇒ 3回/1 試合

(2) 監督が行って、選手を集めると、上記が各々1回のカウントとなります。

但し、投手交代の場合は、監督のみ回数には含まない。

(3) 延長戦は1イニングにつき、各々1回取得可能です。

3. 攻撃側のタイムの回数制限(競技者必携(2022年版)58・59 ページ 3 項)

1 試合に3回以内とし、延長戦は1イニングにつき、1回取得可能です。

4. タイブレーク方式(競技者必携(2022年版)48 ページ3項)

継続打順で0アウト一塁・二塁の状態にして、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで行う。

5. フリーバッティング厳禁(千葉県野球協会の大会実施要項)

練習は外野に限り行う事ができる(フリーバッティングは厳禁)。

6. 投手の投球制限(競技者必携(2022年版)50 ページ 7 項、千葉県野球協会特別規則)

1日の投球数は70球以内(4年生以下は60球以内)。

7. 得点差によるコールドゲームの適用(千葉県野球協会特別規則)

ゲーム中において5回を終了した時点で7点差が生じた場合。

⇒決勝戦も適用です。

8. 正式試合(千葉県野球協会特別規則)

正式試合になる回数は5回とする。(但し、試合時間(1時間30分)を優先)

暗黒、降雨などで5回以前に中止の場合、また5回を過ぎ正式試合となって同点で試合が中止の場合は、翌日の第1試合に先立って継続試合を行う。

(競技者必携(2022年版)49 ページ4項)

9. ベンチに入れる人員(千葉県野球協会特別規則)

(1) 監督1名、コーチ2名以内、選手9名以上20名以内。但し、監督・コーチは成人。

(2) チーム代表者、マネージャー、スコアラー各1名、介護員2名以内(連盟ビブス着用)。

10. スパイクの色(競技者必携(2022年版)63 ページ 2 項)

スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。

以上